

①規格外や低未利用品の有効活用

アウトレット野菜出荷方法の最適化による付加価値の向上事業

アウトレット野菜の加工販売により、JA組合員の農家が生産する野菜全体の収益性を最大化する仕組みを構築する。

連携体

農林漁業者

JA梨北(協同組合)

組合員の農家が、JA梨北独自の栽培指針に基づいて生産する野菜をA~Dグループに分類し出荷する。

中小企業者

(株)ベジタブル・ラウンジ(食料品製造業)

JA梨北の栽培指針により、主にC・Dグループに分類される規格外や余剰分の「アウトレット野菜」を仕入れ、加工し販売する。

連携参加者

(株)リパブリック(飲食店)

(株)ベジタブル・ラウンジより加工野菜を仕入れ、自社飲食店で提供するとともに、市場ニーズをJA梨北に提供する。

サポート機関等

地域活性化支援事務局、(財)やまなし産業支援機構

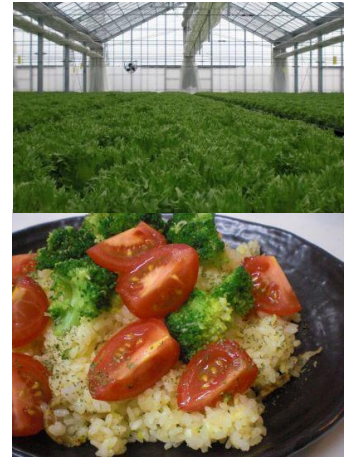
連携の経緯

JA梨北は、約40組合員の農家で生産される農産品のうち、規格外や余剰分の野菜(以下「アウトレット野菜」という)の販路拡大を模索していたところ、国産野菜をより安く仕入れるルートを開拓していた(株)ベジタブル・ラウンジのニーズと合致した。

そこで、(株)ベジタブル・ラウンジがJA梨北より、試験的にたまねぎなどを仕入れ、自社工場にて加工方法を検討し、外食産業のニーズに合った商品の試作を行った。それにより、今後、JA梨北が、アウトレット野菜を市場価格より安価で卸売する目処がつかれたことから、本事業の連携に至った。

連携に当たっての課題や工夫等

アウトレット野菜は仕入れ量や傷みなどの状態がすべて異なるが、JA梨北が培ってきた出荷規格等のノウハウを活用して提供し、(株)ベジタブル・ラウンジの料理人としての目利きや、商品の卸し先となる外食産業の最新情報を基に、野菜の有効活用方法を検討することなどを通して、都度両者が協議の上で適正価格を決定する仕組みを設ける予定である。



連携による効果

農林漁業者

5年で130万円の売上高増加、規格外品の有効活用、永続的地域営農の確立

規格外品の販路を確立することにより、組合員の農家の安定的な所得確保が期待される。

中小企業者

5年で190万円の売上高増加、新たな農業ビジネスモデルの開拓

消費者ニーズを野菜の生産現場に直接反映し、ニーズにあった品目の確保につなげる新たな農業ビジネスモデルを確立することで、売上高の増加が期待される。

代表企業等の連絡先

企業等名：梨北農業協同組合
 TEL：0551-22-1311
 E-mail：jar-skouhou@jarihoku.or.jp

所在地：山梨県韮崎市一ツ谷1895
 FAX：0551-22-1316
 ホームページ：http://www.jarihoku.or.jp/